

2022 年度  
第 26 回 六級海技士（航海）短期養成科 募集要項

－航海士・船長への道－

航海士や船長となるために、社会人をはじめ高等学校卒業した方や同等の能力を有する 18 歳以上を対象にしたコースです。

授業は座学と社船実習（民間の商船）を効果的に組み合わせ、海運業界が求める専門技術や即戦力化に対応した「民間完結型の六級海技士（航海）養成制度」を導入して行います。

座学 2.5 ヶ月と社船実習船 2 ヶ月を修了すれば、本科と海技免許講習の修了証明書が交付され、認定申請をすると「甲板部航海当直部員」資格が取得できます。

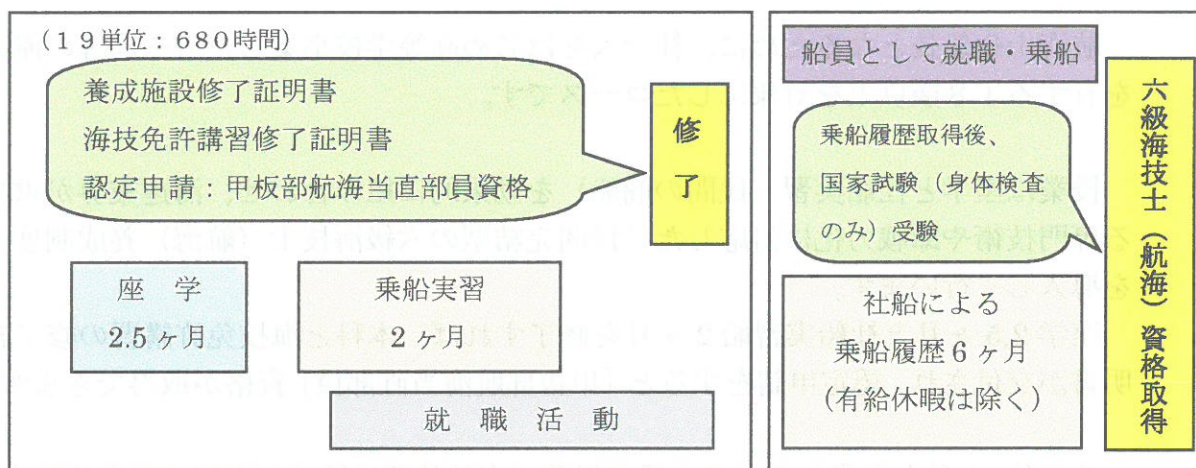
その後 本科を卒業し 6 ヶ月の乗船勤務（有給休暇は除く）を経て、身体検査基準に合格することで六級海技士免状（航海）が取得できます。



## 1. 募集課程・定員

募集課程	定員
六級海技士（航海）短期養成科	15名

## 2. 履修方法 期間：2022年11月8日～2023年4月25日（予定）



座学の2.5ヶ月は尾道海技大学校で実施する。

乗船実習（2ヶ月）は民間の商船（実習船として認められた船舶）で教員（指導員として認められた航海士・船長）の指導により実施する。

## 3. 入学資格

受講開始日までに18歳に達し、入学試験に合格した者

## 4. 特典

- ・本科を修了後、甲板部航海当直部員の認定を受けることができる。
- ・在講中に海技免許講習（必須）及び第2級海上特殊無線技士講習（選択）が受講できる。
- ・卒業後、6ヶ月の乗船勤務履歴（有給休暇は除く）で六級海技士（航海）の受験資格が得られ、筆記試験免除で身体検査のみ受験し、合格すれば六級海技士（航海）免状が取得できる。
- ・船員の「公共職業訓練等」の制度が利用できる。離職後雇用保険受給資格のある者は、公共職業訓練等の指示を受けることによって、受講中に失業保険や技能手当等の受給が可能。
- ・教育訓練給付制度（厚生労働省）指定講座（受講の為に支払った訓練経費の給付）  
※詳細は最寄りのハローワークにご相談ください。
- ・五級海技士（航海）の筆記試験が受験できる（選択）。

## 5. 出願手続き

### (1) 出願書類

- ①入学願書 所定の願書を使用すること。
- ②健康診断書 所定の診断書を使用し、**医師の診断**を受けること。
- ③写真5枚 3 cm × 3 cm (最近3ヶ月以内に撮影・上半身脱帽正面)  
※いずれも裏面に氏名・生年月日を記入し、1枚は入学願書に貼り付ける。
- ④卒業証明書または成績証明書 (卒業証書のコピー可)

### (2) 入学選考料：30,000円

振込先：三井住友銀行 尾道支店

普通口座 0725650

(名義) 一般財団法人尾道海技学院 尾道海技大学校

### (3) 出願方法

上記の出願書類を入学願書在中封筒に入れて、出願期間内に送る。  
入学選考料振込の控え(コピー)も同封のこと。

**出願期間 2022年8月25日～2022年9月21日(必着)**

### (4) 出願上の注意

- ①入学願書は、本人自筆により楷書ではっきり記入のこと。
- ②提出書類は、黒のボールペンまたは黒のペンを使用のこと。
- ③一度受理した出願書類及び選考料は、理由の如何を問わず返還しない。
- ④最少催行人数に達しない場合は、開講しない。

## 6. 入学試験

- ①入学試験日 2022年9月30日(金) 10時
- ②試験内容 10時より筆記(小論文含む)試験に引き続き面接試験
- ③試験会場 一般財団法人 尾道海技学院(予定)  
広島県尾道市栗原東二丁目18番43号  
※都合により別会場になる場合があります。

## 7. 合格発表・入学手続き

- ①合格発表 10月5日に発送予定
- ②手続き 合格者に別途案内する

## 8. 入学式

2022年11月8日（火曜日）10時より

## 9. 学費等：420,300円（税込）

《内訳》	授業料	210,400円
	実習・資格費	146,000円
	教本・教材費	35,900円
	保険料付保費	28,000円

（注）別途費用（⑤と⑥は選択）

①実習に必要な作業服等 21,500円（安全靴代含む）

②乗船実習のための移動費

③社船実習時の食費 80,000円（2ヶ月分）

④宿泊費

学生寮の場合は約276,000円（朝夕2食付・2,5ヶ月分・定員有）

⑤第2級海上特殊無線技士受講料 52,350円

⑥五級海技士（航海）受験料 約9,000円

## 10. 講習実施機関・お問い合わせ

一般財団法人 尾道海技学院 尾道海技大学校

電話 0848-37-8111